

第2回 医薬品関連ものづくりセミナー

富山県新世紀産業機構では「医薬品関連ものづくり研究会」の活動を通じて、産学官連携による県内ものづくり企業の医薬品容器・包装分野等における製品開発を支援しています。

このたび、当研究会活動の一環として、医薬品関連ものづくりセミナーを開催いたします。

ご多用中のこととは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 **12月4日（火）** 13:30～16:00

【会 場】富山県民会館301号室 （富山市新総曲輪4番18号）

【定 員】30名 （定員になり次第、締め切らせていただきます）

【受講料】無 料

【締 切】平成30年11月28日（水）

【プログラム】

13:30～13:40 開会あいさつ

13:40～14:40

「ユニバーサル メディケーション」～薬の有効性を生かす包装・デバイスを目指して～
横浜薬科大学 薬学部 教授 定本 清美 先生

医療の進歩と共に、有効な薬が多数開発され、朗報になる話題も多い中、高齢化に伴う医療費、介護費の高騰が日々問題とされている。また、医療費の多くを占める医薬品については、その有効性を十分に活用するために、適正な使用が求められ、その適正使用は、患者の治療効果に影響するばかりでなく、医療経済にとっても重要な事項である。本講演では、医療を取り巻く現状や、その中での医薬品の提供の在り方について、これまでに行ってきた医薬品包装やデバイスの検証結果を基に講演する。

14:40～14:50 質疑応答

14:50～15:00 名刺交換

15:00～ 個別相談（富山県民会館402号室）

※セミナー終了後に希望者を対象に「個別相談」の機会を設けます。講師・コーディネータ等とともに、各種相談や質問事項にお答えします。

【詳細は事務局までお尋ねください。】



講師略歴：

東邦大学薬学部及び医学部を卒業された後、東邦大学大学院医学研究科及び英国バーミンガム大学大学院社会科学研究科を修了され、それぞれ博士（医学）、修士（社会科学）を取得される。

その後、英国バーミンガム大学医学部附属病院リウマチ科名誉研究生となり、現在は、横浜薬科大学薬学部臨床薬学科の教授及び東海大学附属大磯病院内科（リウマチ）の非常勤教授を務められている。

「内科リウマチ」「膠原病学」「臨床薬学」をご専門とされ、現在は、「臨床リウマチ学」「服薬しやすさに貢献する剤形やユニバーサルデザイン包装」「医療安全と危機管理」を研究課題とされている。

【お申込み・お問い合わせ先】

主催 公益財団法人富山県新世紀産業機構 医薬品関連ものづくり研究会（担当:高橋）

〒930-0866 富山市高田529番地 e-mail : t.takahashi@tonio.or.jp

TEL 076-444-5636 FAX 076-433-4207